

# ☆「合理的配慮」：3観点11項目で整理するために



これまでの配慮を「3観点11項目」で捉え直すと言っているけど、話し合いで、どうやって捉え直せばいいの？

本人や保護者と合理的配慮の「3観点11項目」をどう意識して、話し合っていくかが大切です。  
ただ、全てを頭に入れるのは、大変ですね。  
当センターでは、それがすぐにできる検討メモを作成し、話し合いの道筋が見えるようにしました！



**3観点11項目での話し合いができる！**

**合意形成を記録に残す！**

縦版の方は、親しみやすい言葉で3観点11項目について、整理しています。

横版の方は、3観点11項目のまま、簡単な説明がついています。

書面上で、「合意形成」まで確認できる資料です。他の外部機関とも連携しやすい！

**使いやすい方をどうぞ！**

## 【話し合いを進める時のやりとりの例】

③情報  
コミュニケーション  
教材（補助具等）

この項目で考える時・・・



教員

保護者

本人

〇〇君、本人にとって分かりやすい情報の伝わり方について  
例・〇〇だと思うんですけど、どうですか？（提案型）

- ・〇〇病院の先生からのアドバイス等はありませんでしたか？（連携型）
- ・ご家庭で、本人に分かりやすく伝えている方法、本人が「このやり方がいい」と言っている方法はありますか？（家庭引き出し型）

全てを「どうしたらいいですか？」と本人や保護者に聞くわけではありません。  
一緒に考える建設的な（前向きな）対話の姿勢が大切です！

☆ 3 観点 11 項目 検討メモ (記入例)

障がいによる学習上・生活上の困難さ

- 書くことに対して苦手意識がある。
- 板書を時間内にノートに写すことが難しい。
- 学級全員に対して行った指示を理解し、行動することが難しい。

<b>教育内容</b>  ●  <b>方法</b>	①困難を改善・克服するための配慮	◎書くことに対する苦手意識がある。 →穴埋め式のプリントを用意し、書く量を調整するとともに、達成感を味わうことができるようにする。
	②学習内容の変更・調整	◎板書を時間内にノートに写すことが難しい。 →穴埋め式のプリントを用意できない場合は、板書内容をデジカメで撮影・印刷したものを配付する。
	③情報 コミュニケーション 教材（補助具等）	◎指示や説明を理解し、行動することが苦手である。 →指示は短く、視覚情報も交えて伝える。 →メモ帳の使用の仕方を指導し、メモができるようにする。
	④学習機会や体験の確保	* 特にない。
	⑤心理面・健康面	* 特にない。
<b>支援 体制</b>	⑥専門性のある 指導体制	◎書くことが苦手。 →特別支援学級の弾力的運用で、放課後に特別支援学級担任に「得意な学習方法」について自己理解を促す指導をお願いする。
	⑦友だち、教員 周囲の理解	◎配慮について友達からずるいと言われる。 →学習内容の変更調整（板書の代替等）について、クラスの友達に説明をする。
	⑧災害時等の 支援体制	* 特にない。
<b>施設 設備</b>	⑨校内環境 バリアフリー	* 特にない。
	⑩特性等に応じた教室・設備環境	* 特にない。
	⑪災害時等への対応に必要な施設等への配慮	* 特にない。

様々なバージョンの☆『3観点11項目検討メモ』の様式を作成しましたので、状況に応じてご活用ください。

全ての欄を埋める必要はありませんが、全ての項目について一度検討してみることで、様々な観点からの支援を考えることができます。

